| 学校番号 | ３０５ |
|---|---|

平成 31 年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | 4 | 第２学年<br>（普通科） | Perspective English CommunicationⅡ<br>New Edition<br>Perspective English CommunicationⅡ<br>本文完成ノート<br>入門英文解釈の技術 70 |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、コミュニケーション英語Ⅰで習得した「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をより発展させる授業です。そのために、聞いたり読んだりした情報をペアーワークを通して伝えたり、また要約を書いたりする言語活動を多く行います。

・英語の語彙や文法については、ただ単に暗記することにとどまらず、常に実際のコミュニケーションでどのように使われているかを意識することが大切です。

・音読やシャドーイングも外国語学習の中でとても大切な練習のひとつです。英語の発音、リズムやイントネーションに気をつけながら、その内容をイメージ化することに注意を向けて下さい。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（４単位）及び「英語表現Ⅱ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| ・絵、写真等視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。<br>・日常的なあいさつができ身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 | コミュ英Ⅱ<br>インタビューテスト<br>スピーチ<br><br>英語表現Ⅱ<br>インタビューテスト、スピーチ<br>プレゼンテーション | ・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書ける。<br>・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。 | コミュ英Ⅱ<br>ライティングテスト、定期考査<br><br>英語表現Ⅱ<br>ライティングテスト、定期考査 | ・日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。<br>・ゆっくりはっきり話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。 | コミュ英Ⅱ<br>インタビューテスト<br><br>英語表現Ⅱ<br>インタビューテスト<br>スピーチ | ・３００語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。<br>・簡単なマニュアルや手引書などを理解し、その内容に沿って行動することができる。 | コミュ英Ⅱ<br>定期考査<br>音読テスト<br><br>英語表現Ⅱ<br>インタビューテスト、スピーチ |

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | Can-do リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | Can-do リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化等を理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

4　学習の活動

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 1<br>( 10 時間) | 独学で発電方法を学んだ少年に関する英文を読んで、学習することの意義について考えさせる。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ペアワークにおいて、互いに協力して活動を続ける。 | ペアリーディング、ペアチャンクリーディングなどを通じて、お互いに協力して言語活動をする。 | ペアーワークにおいて、互いに協力して活動を続けることができる。 | ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。 | 本文の重要語句などを空所にしたワークシートを活用し、空所を補い、また自分の考えをまとめる。 | 本文の一部が空所になった文の、空所に適切な語を補う。他者の発言を聞き、自分の考えを発表する。 | 音読テストを実施する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 文法などの規則にのっとって，英文の内容を正しく理解できる。Summary で本文内容を整理して読み取り，空欄に適切な語句を補うことができる。 | パートごとに、本文の音声を聞き、チャンクリーディングと Q&A を行い、本文の内容を理解する。 | 非言語的なコミュニケーション手段についての知識を持つ。学習することが主人公やマラウィの人に与えた影響について理解する。 | 定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | With …などが条件を表す仮定法，同格の that について理解し，それらを用いた文を書くことができる。 | 本文中に用いられている意味や用法を確認する。<br>問題演習をする。 | 下記の表現の使い方を理解している。<br>・With…などが条件を表す仮定法<br>・同格の that | 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、理解しているか判断する。 |
| Lesson 2<br>( 10 時間) | オリンピックの歴史や意義、ソチオリンピックでの感動的なエピソードとオリンピックにおける「おもてなし」の精神について読み取らせる。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ペアワークにおいて、互いに協力して活動を続ける。 | オリンピックの歴史や意義について JTE や ALT の発言を聞き、理解する。 | ペアーワークにおいて、互いに協力して活動を続けることができる。 | ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。オリンピックの意義について自ら考えさせる。 | 本文の重要語句などを空所にしたワークシートを活用し、空所を補い、正確な発音で音読する練習をする。スピーチのメッセージと自分の感想をまとめる。 | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。他者の発言を聞き、自分の考えを発表する。 | 音読テストを実施する。<br>グループ内でのスピーチを観察する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | オリンピックの歴史や意義、ソチオリンピックでの感動的なエピソードなど読んだことを理解する。Summary を完成する。 | パートごとに、本文の音声を聞き、チャンクリーディングと Q&A を行い、本文の内容を理解する。 | 2020 年東京オリンピックの決定、古代オリンピックと近代オリンピックの発展の様子等について内容を読み取る。 | 定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 下記の表現を理解する。<br>・未来完了形<br>・完了動名詞 | 本文中に用いられている意味や用法を確認する。<br>問題演習をする。 | 下記の表現の使い方を理解し、使うことがでる。<br>・未来完了形<br>・完了動名詞 | 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて理解しているか判断す |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 3<br>( 10 時間) | 動物による道具使用の多様性とその特徴を読み取らせる。また、動物の知能についての興味付けを行い、その他の例について自ら考えさせる。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ペアワークにおいて、互いに協力して活動を続ける。 | ペアリーディング、ペアチャンクリーディングなどを通じて、お互いに協力して言語活動をする。 | ペアーワークにおいて、互いに協力して活動を続けることができる。 | ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。動物による道具使用について自ら考えさせる。 | 本文の重要語句などを空所にしたワークシートを活用し、音読練習をする。動物の知能についてのその他の例をワークシートにまとめる。 | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。動物による道具の使用について自分の考えを発表する。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | チンパンジー、イルカ等の動物による道具使用の内容を理解する。Summary で本文内容を整理し、空欄に適切な語を補う。 | パートごとに、本文の音声を聞き、チャンクリーディングと T. or F.を行い、本文の内容を理解する。 | 授業での本文理解状況。Summary への解答状況。 | 定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 下記の表現を理解する。<br>・仮定法を含む表現<br>・否定語＋倒置 | 本文中に用いられている意味や用法を確認する。<br>問題演習をする。 | 下記の表現の使い方を理解している。<br>・仮定法を含む表現<br>・否定語＋倒置 | 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、理解しているか判断する。 |
| Lesson 4<br>( 10 時間) | レシャード・カレッド医師が日本語を志すきっかけとなった 2 つの出来事や、日本・アフガニスタン両国での医療活動について読み取らせる。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ペアワークにおいて、互いに協力して活動を続ける。 | ペアリーディング、ペアチャンクリーディングなどを通じて、お互いに協力して言語活動をする。 | ペアーワークにおいて、互いに協力して活動を続けることができる。 | ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。レシャード医師の活動について考える。 | 本文の重要語句などを空所にしたワークシートを活用し、音読練習をする。レシャード医師の活動について感想を持つ。 | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。レシャード医師の活動について感想を発表する。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。<br>発表状況を観察する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 来日前後のレシャード医師の活動について概要を把握する。Summary を完成する。 | パートごとに、本文の音声を聞き、チャンクリーディングと T. or F.を行い、本文の内容を理解する。 | 授業での本文理解状況。Summary への解答状況。 | 定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 下記の表現を理解する。<br>・be to –不定詞<br>・前置詞＋関係代名詞 | 本文中に用いられている意味や用法を確認する。<br>問題演習をする。 | 下記の表現の使い方を理解し、表現できる。<br>・be to –不定詞<br>・前置詞＋関係代名詞 | 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、理解しているか判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 5<br>( 10 時間) | 食糧損失・食糧廃棄の理由やそれが及ぼす影響について読み取らせる。また、食糧損失・食糧廃棄を減らすための世界での取り組みを知る。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ペアワークにおいて、互いに協力して活動を続ける。 | ペアリーディング、ペアチャンクリーディングなどを通じて、お互いに協力して言語活動をする。 | ペアーワークにおいて、互いに協力して活動を続けることができる。 | ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。食糧損失と食糧廃棄が引き起こすものは何かを知る。 | 本文の重要語句などを空所にしたワークシートを活用し、音読練習をする。食糧損失・食糧廃棄を減らすための取り組みをワークシートにまとめる。 | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。私たちの日常生活でできることについて感想を発表する。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。発表状況を観察する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 食糧損失・食糧廃棄の理由やそれが及ぼす影響について考える。Summary を完成する。 | パートごとに、本文の音声を聞き、チャンクリーディングとQ＆Aを行い、本文の内容を理解する。 | 食糧損失・食糧廃棄の理由とその影響について理解している。Summary の解答状況。 | 定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 下記の表現を理解する。<br>・独立分詞構文<br>・複合関係詞 | 本文中に用いられている意味や用法を確認する。<br>問題演習をする。 | 下記の表現の使い方を理解している。<br>・独立分詞構文<br>・複合関係詞 | 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、理解しているか判断する。 |
| Lesson 6<br>( 12 時間) | 岡本太郎氏の来歴や、戦争に対する考え方が自らの作品に与えた影響を読み取らせる。また、岡本氏の創作についての興味付けを行い、それが世界に与えている影響について考える。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ペアワークにおいて、互いに協力して活動を続ける。 | ペアリーディング、ペアチャンクリーディングなどを通じて、お互いに協力して言語活動をする。 | ペアーワークにおいて、互いに協力して活動を続けることができる。 | ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。岡本氏の考え方について自らの考えを英語で表現する。 | 本文の重要語句などを空所にしたワークシートを活用し、音読練習をする。岡本氏の創作・戦争に対する考え方をワークシートにまとめる。 | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。ワークシートをもとに自分の考えを発表する。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。発表状況を観察する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | 岡本氏の創作の特徴、彼の戦争に対する考え方を文型、文法事項にも注意しながら概要を把握する。Summary を完成する。 | パートごとに、本文の音声を聞き、チャンクリーディングと T. or F.を行い、本文の内容を理解する。 | 授業での本文理解状況。Summary への解答状況。 | 定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 下記の表現を理解する。<br>・動名詞の意味上の主語<br>・動名詞（受動態）の文を作る | 本文中に用いられている意味や用法を確認する。<br>問題演習をする。 | 下記の表現の使い方を理解している。<br>・動名詞の意味上の主語<br>・動名詞（受動態）の文を作る | 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、理解しているか判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 7<br>( 12 時間) | マチュピチュ発見までの経緯と、遺跡群の特徴を読み取らせる。また、世界の遺跡の発掘物の所有権について自ら考えさせる。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ペアワークにおいて、互いに協力して活動を続ける。 | ペアリーディング、ペアチャンクリーディングなどを通じて、お互いに協力して言語活動をする。 | ペアーワークにおいて、互いに協力して活動を続けることができる。 | ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。マチュピチュ遺跡の特徴と現在の論争点について英語で考えをまとめる。 | パートごとに、本文の音声を聞き、チャンクリーディングとQ＆Aを行い、本文の内容を理解する。 | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。自分の考えを英語で表現する。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。発表状況を観察する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | マチュピチュ発見までの経緯と、遺跡群の特徴を読み取る。Summary を完成する。 | パートごとに、本文の音声を聞き、チャンクリーディングと T. or F.を行い、本文の内容を理解する。 | 授業での本文理解状況。Summary への解答状況。 | 定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 下記の表現を理解する。<br>・完了形の分詞構文<br>・主語が条件を表す仮定法 | 本文中に用いられている意味や用法を確認する。<br>問題演習をする。 | 下記の表現の使い方を理解している。<br>・完了形の分詞構文<br>・主語が条件を表す仮定法 | 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、理解しているか判断する。 |
| Lesson 8<br>( 12 時間) | 1950年代の人種差別についてのアメリカ国民の考えと Little Rock Central High School での出来事が社会に与えた影響を読み取らせる。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ペアワークにおいて、互いに協力して活動を続ける。 | ペアリーディング、ペアチャンクリーディング、要約などを通じて、お互いに協力して言語活動をする。 | ペアーワークにおいて、互いに協力して活動を続けることができる。 | ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。人種差別問題について自らの考えを英語で表現する。 | 本文の重要語句などを空所にしたワークシートを活用し、音読練習をする。 | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。人種差別問題について自らの考えを発表する。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。発表状況を観察する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | Little Rock Central High School での出来事を把握する。Summary を完成する。 | パートごとに、本文の音声を聞き、チャンクリーディングと T. or F.を行い、本文の内容を理解する。 | 授業での本文理解状況。Summary への解答状況。 | 定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 下記の表現を理解する。<br>・with＋名詞＋分詞<br>・仮定法現在 | 本文中に用いられている意味や用法を確認する。<br>問題演習をする。 | 下記の表現の使い方を理解している。<br>・with＋名詞＋分詞<br>・仮定法現在 | 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、理解しているか判断する。 |

| 単元<br>(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Lesson 9<br>( 12 時間) | エルトゥールル号遭難事件とトルコ航空機による日本人救出劇の関連性、山田虎次郎の活躍、エルトゥールル号発掘調査について読み取らせる。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ペアワークにおいて、互いに協力して活動を続ける。 | ペアリーディング、ペアチャンクリーディング、要約などを通じて、お互いに協力して言語活動をする。 | ペアーワークにおいて、互いに協力して活動を続けることができる。 | ペアでの言語活動を観察する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。人種差別問題について自らの考えを英語で表現する。 | 本文の重要語句などを空所にしたワークシートを活用し、音読練習をする。 | 本文の一部が空所になった文の、空所を補い、正確に音読する。人種差別問題について自らの考えを発表する。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | エルトゥールル号遭難事件と現地の日本人の救出の様子について内容を理解する。Summary を完成する。 | パートごとに、本文の音声を聞き、チャンクリーディングと T. or F.を行い、本文の内容を理解する。 | 授業での本文理解状況。Summary への解答状況。 | 定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 下記の表現を理解する。<br>・進行形（受動態）<br>・完了不定詞 | 本文中に用いられている意味や用法を確認する。<br>問題演習をする。 | 下記の表現の使い方を理解している。<br>・進行形（受動態）<br>・完了不定詞 | 言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、理解しているか判断する。 |